

1 在外自国民保護

- 自衛権での正当化 教科書 250 頁注 137
 - 「純粋に自国民保護を目的とした例」
 - ◇ [エンテベ空港事件](#)
 - 自衛権との主張 どのような根拠を挙げているか？
 - ◆ イスラエル [S/PV.1939](#), paras. 104-121
 - ◆ 米 [S/PV.1941](#), para. 77
 - 国際法違反との主張 どのような根拠を挙げているか？
 - ◆ タンザニア [S/PV.1941](#), para. 104.
 - ◆ インド [S/PV.1942](#), paras. 145-146.
 - ◆ アルジェリア [S/12132](#)
 - あいまいな主張 あいまいな主張をする法的理由はあるか？
 - ◆ 日本 [S/PV.1942](#), paras. 57-58.
 - ◆ スウェーデン [S/PV.1940](#), paras. 122-123.
 - ◇ [米・イラン人質奪回作戦 \(Operation Eagle Claw\)](#)
 - 自衛権との主張 どのような根拠？
 - ◆ 米 [ICJ 提出文書](#) (リンク先最終頁の末尾)
 - ◆ 日本 [衆議院安全保障特別委員会 1980 年 4 月 26 日](#)
 - ◆ (参考 [ICJ 判決](#) (パラ 93-94) は自衛権の主張につき評価せず)
 - 批判 どのような根拠？
 - ◆ イラン [S/13915](#)
- “an armed attack occurs *against a Member of the United Nations*”をどう考えるか
- 日本は？
 - 現行法はそもそも問題を想定していない [自衛隊法](#) 84 条の 3 2 号
 - 現実的可能性
 - ◇ 韓国において同意が得られる可能性は僅少¹
 - ◇ 台湾において中国が同意する可能性も僅少²
 - 自衛隊法を改正すれば可能になる？

¹ 宮本悟「朝鮮半島有事における課題と方策」武田康裕（編）『[在外邦人の保護・救出](#)』（東信堂、2021 年）199 頁、200 頁。

² 門間理良「台湾海峡有事における課題と方策」武田（編）・前掲注 1・226 頁、247 頁、小原凡司「台湾シナリオ」森本敏・小原凡司（編）『[台湾有事のシナリオ](#)』（ミネルヴァ書房、2022 年）54 頁、85-86 頁。

- ◇ 国際法の理解 変遷？
 - 上記エンテベ空港事件とイラン人質奪回作戦との比較
 - [衆議院安全保障特別委員会 1991 年 3 月 13 日](#)
- ◇ 憲法解釈は？
 - 衆議院安全保障特別委員会 1991 年 3 月 13 日（上記）
 - [衆議院武力攻撃事態特別委員会 2002 年 7 月 24 日](#)
 - [参議院予算委員会 2015 年 3 月 23 日](#)

2 人道的干渉

シリアに対する攻撃 教科書 253-355 頁

- [イギリスの立場](#) 教科書 253 頁注 151
 - 国連憲章 2 条 4 項との関連での説明なし
- フランスの立場
 - 国際法上合法かつ正当 (licites et légitimes) [国民議会外務省答弁 2018 年 6 月 19 日](#) (フランス語)
 - ◇ 極めて重大な犯罪をも構成し得る国際法の根本原則の重大な違反 (自国民に対する化学兵器使用) をやめさせるという目的
 - ◇ 安保理での取り組みの流れに合致
 - (シリアにおけるそれを含む) 化学兵器使用が平和に対する脅威を構成するとの[安保理決議 2118\(2013\)](#)
 - フランスらによる武力行使を違法とするロシア提出決議案 ([S/2018/355](#)) は賛成 3 票しか得られず否決 ([S/PV.8233](#), pp. 22-23)
 - ◇ 人道法を遵守
 - 外務省国際法局長の論文
 - ◇ 他国の領土保全あるいは政治的独立を害する目的ではなく、国連の目的にも反していない³
- 米の立場 説明せず 教科書 254 頁

³ François Alabrune, « Le cadre juridique des actions militaires menées par la France en Syrie le 14 avril 2018 », [Revue générale de droit international public](#), t. 122, 2018, p. 545, p. 547.

- 支持
 - ポーランド 化学兵器使用を抑止 (S/PV.8233, p. 11)

- 「理解」？
 - オランダ “the response... is understandable” (S/PV.8233, p. 13)
 - 日本 「決意を支持」[参議院外交防衛委員会 2018 年 4 月 17 日](#)

- 批判
 - ロシア 化学兵器使用の事実はない (S/PV.8233, p. 4)
 - 中国 安保理に認められていない武力行使は憲章違反 (S/PV.8233, p. 10)
 - ボリビア 国際法に違反を以て応じることはできない (S/PV.8233, p. 14)
 - 赤道ギニア 国際法違反 (S/PV.8233, p. 17) ただし棄権
 - コートジヴォワール 安保理の許可必要 (S/PV.8233, p. 18) しかし反対
 - シリア 化学兵器製造・使用の事実なし (S/PV.8233, p. 20)

以上